

栃木県 三密回避旅行商品 開発支援事業

板室温泉ワーケーションプログラム

ご提案書

ワーク / 労働 x バケーション / 休暇
WORK VACATION

WORKATION

「ワーク / 労働」と「バケーション / 休暇」を組み合わせた造語。オフィスを離れ、どこかで休暇を過ごしながらか働くこと。「ワーケーション」という言葉そのものは、2000年ごろにアメリカで生まれ、近年働き方が多様化してきた影響で世界中に広がっている。オフィスから離れたところで仕事をするという点では、「リモートワーク」や「テレワーク」と同じだが、ワーケーションはただ離れているだけではなく、ビーチやリゾート、温泉街などの「休暇先」でゆったりバカンスを楽しみながら働くことが可能。



複数の大手企業で、ワーケーションの導入や推進が活発化



従業員側メリット

新しい知見が増えていく

従業員側メリット

働きがいの向上



企業側メリット

新しいアイデアが生まれる

従業員側メリット

仕事のモチベーションアップ

企業側メリット

魅力的な企業イメージ醸成



企業側メリット

仕事の効率性向上

ワーケーションの
MERIT

従業員側メリット

家族との時間が確保できる



企業側メリット

優秀な人材獲得に期待

従業員側メリット

心身のストレス反応の低減

企業側メリット

社員満足度を高められる

企業側メリット

離職者を減らす効果も



従業員側メリット

長期休暇が取りやすくなる

企業側メリット

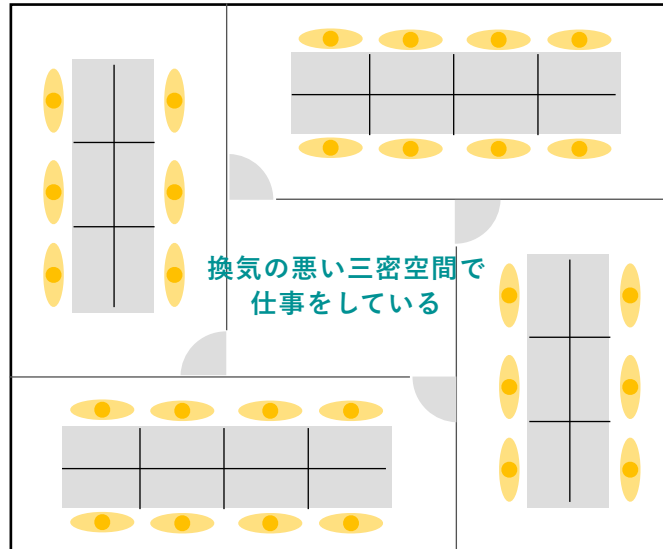
組織コミットメント（所属意識）が向上



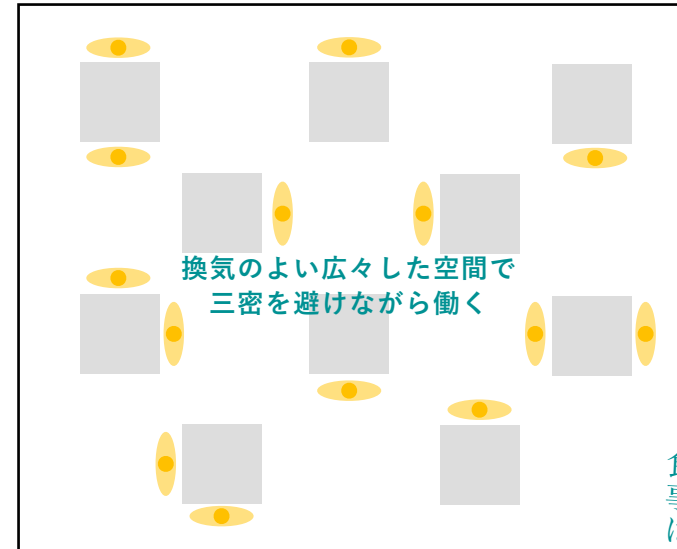
アクリルパネルや消毒液を
適当箇所に**複数個配置**

宿泊は**1室1名利用**でご提供

これまでのオフィスワーク



これからのワーケーション



食事は、
個別部屋食で

今回のコロナショックによって、働き方についても抜本的な見直しが求められていると思います。そのモデルチェンジを図に表すと、上記のようになります。当プログラムでは、これまでには無い新しいワークスタイルをご提案させていただきます。

三密回避しながら働く。コロナ禍での新しいワークスタイルを！

以上を踏まえて・・・

この度、素晴らしい自然環境と温泉地特有の文化と歴史を持つ、国民保養温泉地「板室温泉」を拠点に、那須塩原市、黒磯観光協会、板室温泉旅館組合が連携した「ワーケーションプログラム」をご用意しました。

A person is sitting on a folding chair next to a campfire in a forest at night. The fire is bright and orange, contrasting with the dark blue and black tones of the surrounding environment. The person is wearing a dark jacket and shorts. The background is a dense forest with tall trees, and the ground is covered in rocks and leaves. The overall mood is serene and peaceful.

ITAMURO WORKATION

2020 AW - Collection 01

どんな場所でもオフィスになりうる現代、

日光国立公園内に位置する

国民保養温泉地「板室温泉」を舞台に、

豊かな自然との調和型ワークスタイルをご提案します。

板室温泉は長期滞在にふさわしい静かな温泉地。

同行するファミリーなどが楽しめるよう、

体験型アクティビティなども充実しています。

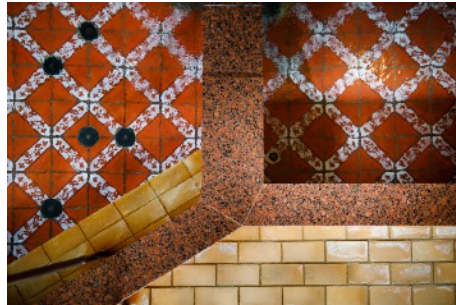
日中、子供達は豊かな自然を楽しむワンデイハイク、

ミニキャンプ、板室ダム湖カヌー体験などの外遊びに。

夜は、家族団らんで静かな夜を楽しむナイトツアーに。

自然豊かな環境で、新しい発想に溢れる理想的なワークスタイルを、板室温泉からお届けします！

自然溢れる下野の薬湯。 素朴で、古き善き湯治場



下野の薬湯として知られ、深い山間にたたずむ自然あふれる静かな温泉地、栃木県黒磯の板室温泉。

板室温泉は那須連山の西端に位置し、清流那珂川の上流（湯川）沿いにある山あいの静かな保養温泉地。

標高は530m前後で、日光国立公園内にあり、国民保養温泉地に指定されました。

板室溪谷の見事な新緑や紅葉等の豊かな自然景観が保護され、素朴な湯治場として療養や保養を中心にご利用いただいております。



板室温泉組合 公式サイト
<https://www.itamuro.com/>



ゆっくりと、安らげる 国民保養温泉地に指定

国民保養温泉地とは、温泉の公共的利用増進のため、温泉利用の効果が十分期待され、かつ、健全な保養地として活用される温泉地を「温泉法」に基づき、環境大臣が指定するものです。

国民保養温泉地の選定は、

- ・利用源泉が療養泉であること
- ・自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の観点から保養地として適していること
- ・医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導が可能な医師の配置計画又は同医師との連携のもと入浴方法等の指導ができる人材の配置計画若しくは育成方針等が確立していること
- ・災害防止に関する取組が充実していること

などの基準によって行われ、令和元年10月現在、全国で80箇所が指定されています。

東京駅から電車で約 2時間 東京都心から車で約 3時間

板室温泉へお越しの際は、東北新幹線でお越しいただくか、お車でお越しいただくかのいずれかが、おすすめです。

【東北新幹線の場合】

東北新幹線で「東京駅」から「那須塩原駅」まで約70分。バスで約45分 タクシーで約20分

【お車の場合】

東北自動車道で「川口JCT」から「黒磯板室IC」まで約90分。そこから約20分



黒磯観光協会 公式サイト
www.kuroiso-kankou.org/



室井俊二

早稲田大学卒業後、群馬県四万温泉で修業を積み、1986年に大黒屋の16代目を継ぐ。「保養とアートの宿」をコンセプトに宿を再興させ、自然と現代アートを融合させた旅館経営が評価され2005年にメセナ協議会より、「アートスタイル経営賞」受賞。

きっと、都会で働いている人も、文化性のあるものを求めている

文化性には、美意識みたいなものがある。文化性の元では、すべては合理的に進まない

- 大黒屋について

文化性で、街をつくる。特に、私の場合は、温泉文化で勝負している。そこに生活文化を組み入れる。

でもそれだけだと、グローバル社会では聞えないと思ったので、芸術文化を組み入れた。すべてを文化的に考える。そうした考え方で、大黒屋はやってきた。

- ワークেশョンについて

都会で働いている人は否応なしに文明の中での生活になっているけど、文化性は自分の意思で身に付けやすい環境にあると思う。

都会での生活は美術館やギャラリー、劇場などへのアクセスがいいので、いくらでも文化的なものに身を置くことが可能です。きっと、都会で働いている人も文化性のあるものを求められているはずなんです。

ワークেশョンの可能性は、そこに自然環境、静寂性、時間のゆとりが加わることだと思います。ある種の「頭の整理」する時間みたいなものですね。板室温泉は自然環境が豊かですよ。山、川があり

ちょっとした散歩にもいい環境です。

田舎で自然豊かで文化的な芸術性ある空間があるならば、私はワークেশョンに来るのではないかと、という仮説を持っています。特に、コロナ禍では。

- 文明性と文化性の違い

文明的なこと、それは合理性ですよ。一方、文化性というのは、そこに美意識みたいなものがありますよ。そういうものを考えると、文化性の元では、すべては合理的に進まないですよ。

たとえば、一杯のコーヒーを飲む時に、紙コップで飲もうが、コーヒーカップで飲もうが、同じじゃないかって捉えてしまうのは、合理的な考え方ですよ。

でも、やっぱり自然溢れるこういう空間には、こういうものが合うだろう、と自分なりに提案しながらやっていくことが、文化性を育むと思うんですよ。だから、何でも合理的にしようとおかしなくなってしまう。

- アフターコロナ時代について

これからのアフターコロナ時代は、手探り状態になると思います。なぜかという、経験したこと無いですから。世界全体、地球規模での感染症ってのは初めてですから。生活文化は変わりますよ。

そして、手探りでチャレンジしている人は、どんどんいい方向に。チャレンジできない人は、悪い方向に。チャレンジしない限りは、経営できない。それが、私の考え方です。

だから、グローバルな社会になればなるほど、特に今回のコロナのような状況になればなるほど、わからないいんだから。

わからないから、挑戦すべきだって、私は言っているわけなんです。わからないからって、沈んでいったら、シュンっとなっちゃう。というのが、私の持論。



これからは、手探り状態に
わからないからこそ、挑戦すべき

何かしらの枠に嵌められて
安定しているものには、飽きが来る

- アートについて

私のいうアートは、現代アートです。なぜ現代アートかと言うと、枠に囚われない、ということです。

現代アートは、枠に囚われませんから、果たしてこれはアートと言うのか、となった時に、コミュニケーション材料になるじゃないですか。

よくお客さんで、現代アートをわからない、って言うんですけど、これはわかるものじゃなくて、感じるものなんです。

不安定だからこそ美しい、美しさは矛盾する。そんな視点でいろいろなものを見てみると、安定してきちっとしているものほど、飽きが来る。不安定なものこそ、飽きが来ない。不安定だからこそ、魅力的なんです。

ご縁や出会いを生む
それが私たちの仕事



- 板室温泉の魅力

ご縁だったり、出会いを、こうした文化的な環境の中でつくる、それが私たちの仕事。それが板室温泉 には出来るんです。合理的じゃないから。

合理的じゃないから、良いんだよ。それを逆手に取れるか が、経営なんじゃないかな。整ってないから、いいんですよ。

パチンコ屋、芸者さん、観光地にはよくあるものが、ここには無い。それが、板室温泉の武器なんです。何もなくて不便だから、文化性が活きるんですよ。

合理的じゃないから、良いんだよ
それが、板室温泉の武器ですよ



- 板室温泉ならではの特徴

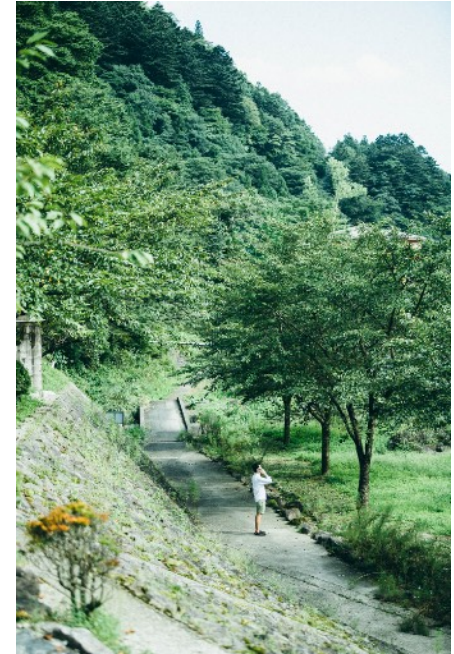
温泉地の中で、一級河川が流れていますよね。これは温泉地の中で、有りそうで無いですよ。そこは魅力といえば、魅力ですね、ひとつは。

それから、長く続いている、というのも魅力ですね。だって、何百年と続いているでしょ？私、16代目ですから。歴史的に続いている。それは、それなりの魅力があるんですよ。ただ儲けたい、という我欲だけで商売せずに、板室温泉がずっと続いてきたっていうのは、魅力かもしれません。

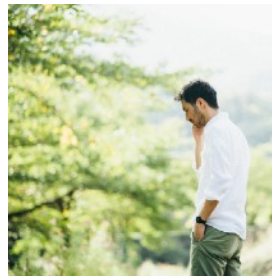
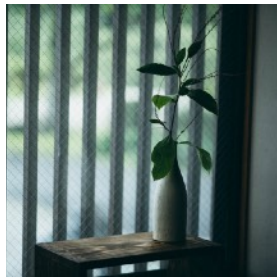
あとは、大ホテルが来ていない。長く続いている温泉街は、他にもあるんですよ。でも、板室温泉には、大きなホテルが来ていないから。大きなホテルが強いのは、文明の力をうまく利用しながら、文化的なことよりも、文明の力で商売することなんですよ。でも、我々はそうではなくて、昔ながらのやり方でやっていますから。

ただ儲けたい、という我欲だけで
商売せず、板室温泉はずっと続いてきた





自然、静寂、文化
すべてがここにある

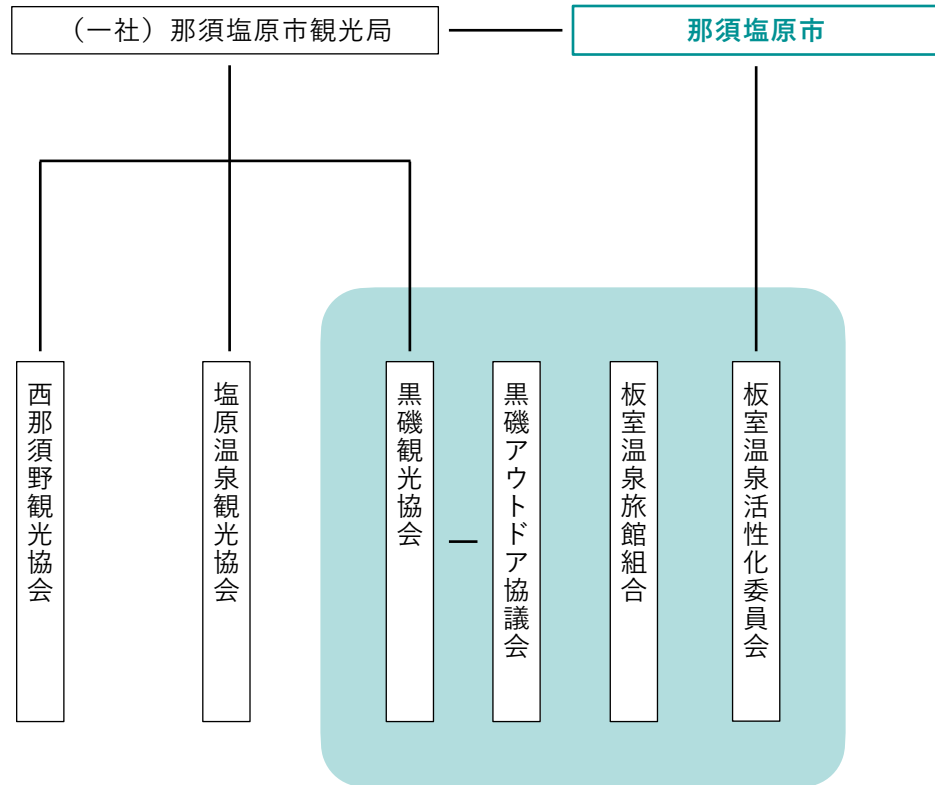
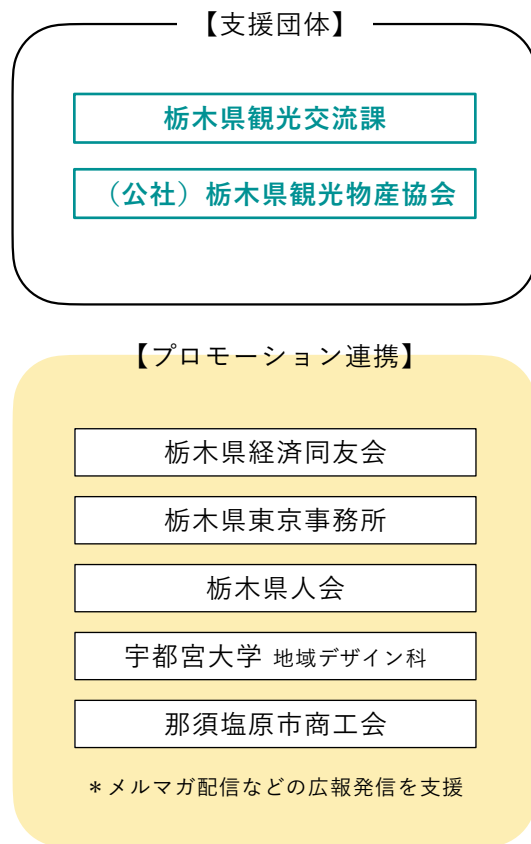




異なる環境で
枠に囚われない発想



新しい働き方への挑戦。合理性に囚われない自由な発想。
溢れ出る斬新なアイデア。それこそが、ワーケーションの醍醐味！



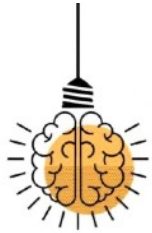
板室温泉ワークショップ x アウトドアプログラム策定事業 実行委員会

当ワークショッププログラムは、栃木県観光交流課、栃木県観光物産協会、那須塩原市などとも連携して、推進してまいります。また、板室温泉旅館組合などと実行委員会を立ち上げ、定期的な情報交換、密なコミュニケーションを通じて、よりよいワークショップ環境の整備を進めてまいります。

普段の旅行と変わらない
簡単手続きでワーケーションに

333 国内旅行予約
トラベル

Rakuten Travel



遊ぶように自由に、働く

溪流釣り体験!?



① オンライン宿泊予約サイトにアクセス

複数のオンライン宿泊予約サイトにて、ワーケーションプランを販売いたします。普段旅行に出かけるのと同様、簡単な手続きで、ワーケーションプランの予約・参加申込が出来ますので、ぜひこの機会に、ご参加ください。



② 「板室温泉 ワーケーション」でキーワード検索

各、オンライン宿泊予約サイト内で、キーワード検索が出来ます。「板室温泉 ワーケーション」と入力いただき、キーワード検索すると、各旅館が販売しているワーケーションプランを確認することが出来ると思います。



③ 宿泊先を探して、プランを選んで、予約

日時や各旅館情報などをご確認いただき、ご都合に合ったお好みのワーケーションプランへ、参加申込ください。簡単な手続きで、予約は完了します。あとは、ワーケーションに出かけるのを楽しみに待つだけです。



④ 当日チェックイン。働くもよし、休暇するもよし！

いよいよ、ワーケーション当日です。旅館に到着したら、まずはチェックインしてください。お部屋へご案内させていただきます。お部屋で早速、お仕事を進めるのもよし。せっかくだから、まずは散歩して、自然を堪能するのも、これまたよし。

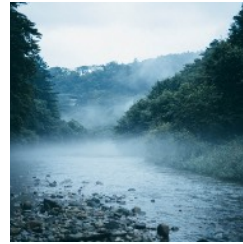
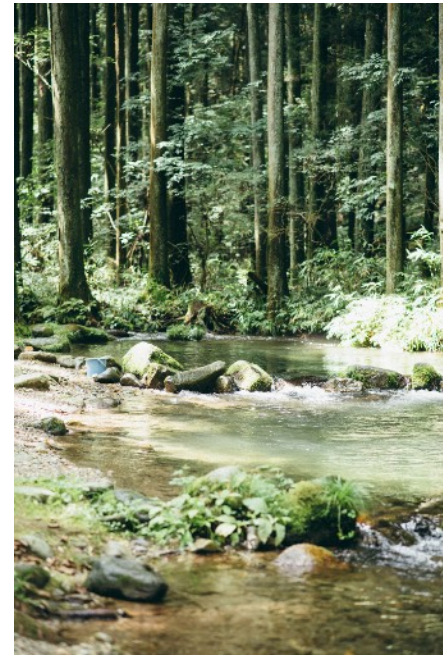
ハイキングに、河川敷で焚き火!?



ワーケーション用に（長期滞在用に）
一泊あたりの料金を「割安で」



ゆっくりと、しっかりと、流れる時間
ちよつと深呼吸して、頭の中を整理



知る人ぞ知る、自然豊かな、板室温泉。
自然を感じる「アクティビティ」で気分転換



当プログラムに関するお問い合わせ

info-kurokanko@nasuinfo.or.jp

まずは、お気軽にお問い合わせくださいませ！

皆様に、お越しいただけるのを、心よりお待ちしております！